

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和 2 年 1 月 30 日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○	個別に療育の時間と、遊びの時間をずらすことで場所を適切に活用しています。	定員に見合ったスペースを確保していますが、長期休暇中等は手狭感が残り、また音が遮断出来ないために騒々しく感じられる時もあり、工夫して参ります。
	2	職員の配置数は適切である	○	法令を遵守した上で、児童人数に対して、余裕を持った療育が行える人数の配置で対応しています。	今後も継続し適切な配置に努めます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされている	○	施設内はバリアフリーですが、施設が2階に位置していますので、階段には手すりをつけ、安全に昇降できるよう配慮しています。	フラットではあるものの、児童にとって走りやすくなる間接きの構造、ドアが勢いよく閉まる等の点があり、対応策を工夫をして参ります。また、パニック時に落ち着けるカムダウンのスペースの導入を検討して参ります。
	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○	職員間で話し合いの場を設け、また、毎月のリフレクション会議で職員全員で改善点を話し合い確認しあっています。	今後も定期的な会議で、共通認識、意思統一の徹底を図り、意見交換を行い、より良い療育を目指して参ります。
業務改善	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○	アンケート調査を実施し、評価表のご意見と、日々の保護者様のご意向を基に業務改善に努めています。	今後も、全職員で共通認識を持って業務改善に取り組みます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	自己評価結果は、公式 Web サイトで公開しております。	今後も Web サイトにて公開を行って参ります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	事業所として第三者委員を選定し、評価結果を業務改善に繋げていますが、現時点では、第三者による外部評価は行われていません。	第三者からの評価受審については、今後の検討課題と致します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	部会などの研修会には積極的に参加し、参加後に情報共有を行っています。	今後も積極的に酸化し、研修機会の確保に努めます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○	保護者様との面談で、児童の事業所、ご家庭、学校での様子、変化等の情報共有を行い、児童の課題に応じた計画を作成しています。	今後も定期的な個別面談を行い、児童の現状や変化を踏まえ、計画を作成して参ります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	児童の状況把握を捉える会社で統一されたツールの活用とともに、場合によってはカードを利用する等、様々な標準化ツールを利用しています。	今後も継続して正確にアセスメントできるように努めて参ります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	毎月の会議の中で意見を出し合い、プログラム立案を行っています。	今後も活動プログラムは随時チームで立案・計画していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	個々の児童に関しては、個別に見直しを行い、全体的には、季節に合わせた活動や外出等を考え、工夫し職員会議で検討しています。	児童の希望も取り入れ、平日の連続した活動、長期休みには季節ごとの行事や制作等も取り入れ変化を持たせて参ります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○	平日に行う課題、休日や、長期休暇には集団活動や行事を多く取り入れて、きめ細やかに設定しています。	今後もきめ細かく設定していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○	適宜、支援計画や個々の児童の状況を見ながら個別と集団活動を選択しています。	今後も児童に状況を考えて支援計画を作成していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	支援開始前には打ち合わせを行い、当日の支援内容と児童の様子や気付いた点など、常に職員間で話し合い、情報を共有している。	今後も毎朝当日の流れ・支援内容や役割分担についての情報共有の上、支援に取り組んでいきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	支援終了後には振り返りを必ず行い、情報共有し、次の支援に繋げています。	今後も報連相を続け、小さなことでも意見を出し合い振り返りを行える様に図って参ります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	日々の支援記録を取り、気付きを情報共有するようにしています。	今後も記録を必ず取り、より良い療育に繋げて参ります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○	定期的に必ずモニタリングを行って、見直しや今後の方向性を探るようにしています。	今後も定期的に児童の現状把握を行い、保護者様のご意向も確認しながら計画の見直しを判断していきます。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○	ガイドラインの基本活動を組み合わせた支援を取り入れています。	今後もガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせながら、個々の児童に寄り添った支援ができるよう努めていきます。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	担当者会議には児童の状況を一番把握している児発管や担当職員が参加しています。	今後も継続して参ります。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○	学校の担任や対応される先生方への面談や連絡を積極的に行っています。また、必要に応じて様子や支援について確認し、学校からもいつでも連絡を頂ける状況を作っています。	今後も迅速な対応がとれるように、継続して情報共有を行って参ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在医療的ケアが必要な児童の受け入れはありません。	今後、対象となる児童の利用が開始となる場合には、関係機関と綿密な打ち合わせと調整の上、受け入れに向けて態勢を整えられるよう検討して参ります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	事前に情報共有を行うことで支援が途切れることがないようにと考えて話す機会を設けています。また就学後も、適宜交流を行い、助言頂いたりしています。	今後も繋がりを切らず連絡を取り合い、情報や助言を頂いながら、児童の課題に向き合いを心掛けていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	現在までに卒業した児童はいませんが、関係機関や保護者様と連絡を取り合いできる限りの情報提供を行っていく準備は整えています。	児童の移行を見据えて、情報整理など準備を行って参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	専門機関や支援部会など関係機関の研修や会議へ参加し、必要に応じて専門機関と連携し、助言を受けています。	今後も助言等を受け、また研修の機会にも積極的に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	現在のところは、機会はありません。	保護者様のご意向をうかがいながら、近隣の学童保育等との交流機会への検討を行って参ります。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	○	積極的に参加しています。	今後も積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○	平素は送迎時や連絡帳で相互に状況を伝えあっていますが、状況に応じて電話連絡や自宅訪問も行っていきます。ご家族への支援も重要な事柄なので、いつでも相談できる体制を整えています。	今後も引き続き保護者様と情報共有の充実を図り共通理解に努めます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	保護者様からの相談についてはいつでも対応を行い、助言を行っています。	今後もお役に立てるよう保護者様のお話をよく傾聴し信頼関係を深めて参ります。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に担当者から保護者様へ丁寧な説明を行い、質問へも随時対応しています。	これからも、分かりやすく丁寧な説明を心掛けて参ります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	連絡帳や送迎時に保護者様から子育ての悩みを聞き、保護者様の気持ちに寄り添えるよう、その都度適切な助言を行っています。	今後もお役に立てるよう保護者様のお話をよく傾聴し信頼関係を深めて参ります。
	32	保護者の会等の開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	保護者様参加の行事などをを行い、保護者様同士が連携を図れる機会を設けています。	今後も保護者様同士の交流を深めていけるよう支援に努めて参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	申し入れがあった際は、速やかに職員へ周知し、迅速に対応できるよう体制を整えています。	ご意見に対しては今後も迅速な対応で原因究明と問題解決を図って参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	公式 Web サイトのブログ事業所の様子をお伝えしている他 SNS で情報は発信し、学期ごとの節目で季刊誌を発行しています。	今後も継続して情報の発信を行って参ります。
	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報の書類の書庫のカギを閉める。閲覧後はすぐに書棚に戻すなど、個人情報については職員個々が意識して取り組んでいます。	個人情報は今後も細心の注意を払い取り扱いや保管を行って参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	児童や保護者様に合わせ、言葉だけでなく、ジェスチャーや手話、メモ等を用いて分かりやすく情報を伝えるよう配慮しています。	今後も連絡帳を充実する等、お互いの情報がスムーズに交換し合えるように努力していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	事業所の行事を行う際には近所の方に招待すべきかどうか検討を行い、告知し、また児童とともに地域行事に参加する等交流を行っています。	今後もイベントの機会には保護者様のご意向を頂きながら、事業所の情報発信を行って参ります。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	事業所にはマニュアルを掲示し迅速に対応できるようにしております。	各種マニュアルをご覧できるように保護者様へも継続してお知らせして参ります。
非常時の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	様々な災害を想定し、どのような状況でも対応できるよう計画を立て児童も参加して訓練を行っています。	今後も定期的に訓練を継続して参ります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	外部の虐待防止の研修に必ず参加し、参加した職員が事業所内研修で周知を行っています。	今後も虐待防止への研修や討議は続け、研鑽に努めて参ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合はあらかじめ文書により保護者様の同意を得ることをしております。	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、やむを得ず、身体拘束を行う場合はあらかじめ文書により保護者様からの同意を得るよう図って参ります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者様より面談時に情報を頂き、全職員で情報を共有しています。また定期的な状況確認を行いながら細心の注意払っています。	医師の指示を順守し、周知を徹底し、都度振り返り食物の提供を行う場合は最新の注意を払います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハットが発生した時は職員で周知し、書面作成を行いヒヤリハット報告書を作成しています。	今後も少しでもヒヤリとした場合は報告書を作り、都度振り返るよう心がけて参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。